

暮らしに役立つ情報満載!

FP FPの家

住まいのニュース

2026 4 vol.185

今月の特集

強くて心地よい、 住まいの「体幹」を鍛える

新緑が芽吹く4月、心機一転の季節ですが、春一番の強風や地震への備えも気になる時期です。家族を守り、心地よい暮らしを支え続ける住まいの「体幹」=構造の重要性和、その理想的な形について紐解きます。

一生を預ける住まいに、 「揺るぎない強さ」という土台を

私たちが健やかに過ごすために「体幹」が重要なように、住まいにとっても目に見えない「構造」こそが生命線です。特に日本において、地震や台風といった自然災害は避けて通れません。

一般的に、家の強さは「耐震等級」などの数値で語られますが、真の強さとは、繰り返しの揺れに対しても歪まず、住まいの精度を長く維持できることにあります。構造がしっかりとした家は、風の強い日でもキシミ音が少なく、外の喧騒を感じさせない静寂を保ちます。この「剛性」の高さが、住む人に物理的な安全性だけでなく心理的な安心感を与えます。家のどこにいても守られているという感覚は、家族の笑顔を育む大切な要素となります。

さらに、強靱な構造は資産価値の維持にも直結します。何十年経っても傾きや歪みが生じにくい家は、メンテナンスコストを抑え、世代を超えて住み継ぐための確かな土台となります。目に見えるインテリアや間取りの工夫も大切ですが、それらを支える「骨組み」に妥協しないこと。それこそが、何気ない日常の平穏を将来にわたって守り続ける、最

も価値のある投資と言えるでしょう。

また、構造の強さは「室内環境」の安定にも大きく寄与します。家が歪まないということは、窓やドアの建て付けが精密なまま維持され、微細な隙間風の発生を長期的に防ぐことにも繋がります。つまり、目に見える物理的な頑丈さが、結果として冬は暖かく夏は涼しい、快適な温度バリアを維持し続けるための絶対条件なのです。春の穏やかな陽光を楽しみながらも、住まいの深部にある「体幹」を信頼できること。その揺るぎない安心感こそが、上質な暮らしの土台となります。

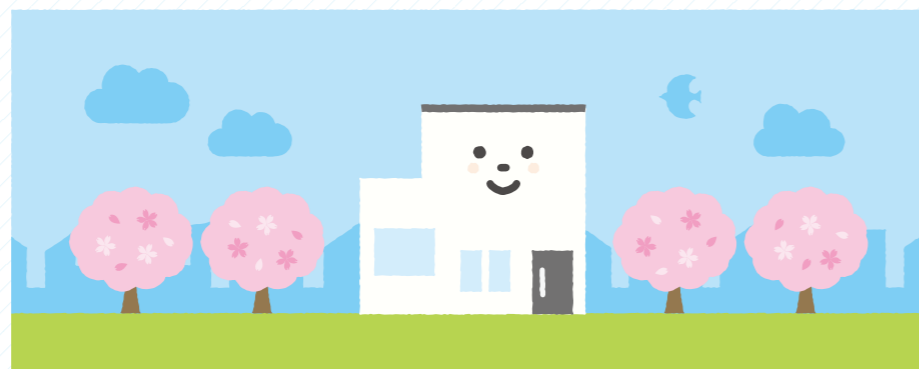
FPウレタンパネルが支える 「一生モノの堅牢さ」

この理想的な「体幹」を支える一つの解答が「FPの家」の独自技術です。

その秘密は、木枠と硬質ウレタンが一体化した強固な構造材「FPウレタン断熱パネル」にあります。

このパネルを柱や梁の間に隙間なく組み込むことで、家全体を強固な「箱」にするモノコック構造を形成します。実証実験では、一般的な軸組工法に比べ約2倍以上の壁強度を持つことが証明されており、地震や強風の力を面全体で分散・吸収します。この堅牢な「体幹」があるからこそ、家が歪まず、新築時の高い断熱・気密性能が経年劣化しにくいという大きな利点が生まれます。

いわば「一生モノの魔法瓶」のような快適さと、家族を守り抜く強さが共存する住まい。新しい季節の暮らしとともに歩む頼もしいパートナーとして、「くらしといのちを守るため」の家づくりを、「FPの家」と一緒に始めませんか。



住まいの知恵袋

「ZEH(ゼッチ)」で叶える一歩先の省エネ生活



新年度、家計の見直しとともに注目したいのが「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」という住まいのカタチです。これは、高い断熱性能と省エネ設備で使うエネルギーを減らし、太陽光発電などでエネルギーを

創ることで、年間の消費収支をゼロ以下にする住まいのことです。光熱費の高騰が続く今、家で使う電気を自給自足できるメリットは計り知れません。また、2026年現在、住宅の省エネ基準は年々厳格化されており、ZEH基準を満たすことは将来の資産価値を守ることに直結します。国による補助金制度も継続されており、導入の追い風となっています。地球環境に優しく、家計にもゆとりをもたらす「一歩先の省エネ生活」を検討してみませんか。

お金の豆知識

固定資産税の賢い納税術

4月になると、市区町村から「固定資産税」の通知書が届く時期。この税金、実は支払い方法ひとつで家計に差が出ることをご存じですか?最近ではクレジットカード払いやスマホ決済に対応する自治体が増えており、ポイント還元を受けられるケースも。手元の通知書を確認し、最もお得で便利な納付方法を賢く選びましょう。



暮らしの「1」ポイント

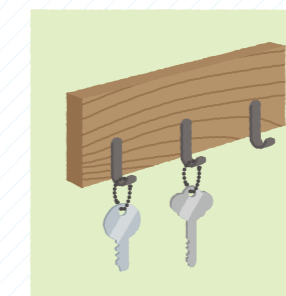
お花見の「冷え」対策



桜の便りが届く4月ですが、お花見は地面からの冷え込みが想像以上に厳しいもの。快適に楽しむなら、座布団代わりに「段ボール」を敷くのがおすすめです。空気の層が断熱材となり、体感温度をぐっと守ってくれます。お出かけには温かい飲み物を添えて。マナーを守って、美しい春を愛でましょう。

できた! 簡単DIY

新生活を整える「端材のキーフック」



新生活が始まり、外出の機会が増える4月。玄関先で「あれ、鍵どこだっけ?」と慌てることはありませんか。そんな悩みを解決するのが、端材で作る「オリジナルキーフック」です。作り方はとてもシンプル。手のひらサイズの木の板に、お好みの真鍮フックやネジを取り付けるだけで完成です。板の表面にワックスを塗ってヴィンテージ風に仕上げたり、お気に入りの色でペイントしたりすれば、世界に一つだけのインテリアになります。背面に強力なマグネットを貼れば、玄関ドアにそのまま設置できて便利。お出かけの際、ふと目に触れるたびに心が和む手作りの彩りで、新しい暮らしの動線をスマートに整えてみませんか。

新生活が始まり、外出の機会が増える4月。玄関先で「あれ、鍵どこだっけ?」と慌てることはありませんか。そんな悩みを解決するのが、端材で作る「オリジナルキーフック」です。作り方はとてもシンプル。手のひらサイズの木の板に、お好みの真鍮フックやネジを取り付けるだけで完成です。板の表面にワックスを塗ってヴィンテージ風に仕上げたり、お気に入りの色でペイントしたりすれば、世界に一つだけのインテリアになります。背面に強力なマグネットを貼れば、玄関ドアにそのまま設置できて便利。お出かけの際、ふと目に触れるたびに心が和む手作りの彩りで、新しい暮らしの動線をスマートに整えてみませんか。

おしえて! Dr.住まいる

「羽アリ」に注意! シロアリ防除

春の訪れとともに「シロアリ」が活動をはじめます。庭先や玄関先で「羽アリ」を見かけたら、それは住まいのSOSサインかもしれません。放置すると土台や柱を食い荒らされ、家の耐震性に深刻な影響を及ぼします。5年に一度の防蟻処理や、床下の定期点検を忘れずに。早期発見が、大切な家を長く守るための処方箋です。

